

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2017-3973 (P2017-3973A)
 【公開日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-001
 【出願番号】特願 2016-96517 (P2016-96517)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 3/00 (2006.01)

G 0 9 F 3/10 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 3/00 E

G 0 9 F 3/00 R

G 0 9 F 3/10 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

商品棚のための接着性標識をインラインで作成するための方法であって、

画像を受け入れるための基材を提供することと；

プリンタを用い、前記基材の上部表面に画像を作成することと；

前記プリンタ内に、前記基材が通過するフューザーロールとそれに対応するアイドラロールとを備えるフューザーを設けることであって、前記フューザーは、前記フューザーロールからトナーを放出させるために前記フューザーロールに添加されるシリコンオイルを含み；

前記基材の各上部表面をコーティングするための剥離剤を前記シリコンオイルに添加して、前記基材の各上部表面に、前記シリコン及び剥離剤コーティングの架橋を開始させることと；

前記プリンタから前記基材を出力することと；

前記プリンタから前記基材を出力しつつ、前記プリンタから前記基材を受け入れるように作られたコンベヤー機構をインラインで提供することと；

前記シリコンと剥離剤コーティングを UV 硬化するための超紫外線硬化ステーションを提供することと；

前記剥離剤コーティングの上部にある前記基材の前記上部表面に感圧性接着剤を加えることと

を含む、方法。

【請求項 2】

前記剥離剤コーティング上にある前記感圧性接着剤が、前記基材の未処理 / コーティングされていない底部に移動するように、前記基材が加圧される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記感圧性接着剤は、保存中に、前記基材の上部に移動し続ける、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

レーザーを用いて所定のサイズに前記基材を切断することを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記所定のサイズに前記基材をダイカットすることを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記カットシート媒体を積み重ね、これに圧縮力を加え、前記感圧性接着剤を、あるカットシート基材から別のカットシート基材に転写することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記コンベヤー機構から前記基材をロボットで積み重ねることを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記剥離剤は、ビニル及び水素化物官能基 + UV トレーサーを有する PDMS ; ビニル + 白金を有する PDMS ; ビニル及び水素化物官能基を有する PDMS ; ビニル + 白金を有する PDMS ; ビニル及び水素化物官能基 + シリカを有する PDMS ; ビニル + 白金を有する PDMS からなる群の混合物のいずれか 1 つの UV 光によって誘発される成分を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記コンベヤー機構がベルトである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記剥離剤は、前記 UV 硬化と架橋し、前記シリコン中の架橋を開始させる前開始剤成分と共に配合される、請求項 1 に記載の方法。